

事前評価個表

整理番号	59
------	----

地域（地区）名	かこがわ 加古川地域	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	兵庫県	対象市町村	神戸市ほか21市町
事業実施期間	H23 ~ H27（5年間）	事業実施主体	市町、林業公社、森林組合等

事業の概要・目的	<p>本事業地は、県南東部に位置する神戸・阪神・東播磨・北播磨・丹波・淡路地域の25市町で県土面積の約46%を占め、阪神大都市圏が含まれることから観光・レクリエーション施設が多い。</p> <p>森林面積 204,523haで、うち民有林面積が197,265ha(96%)を占める。人工林面積 50,283haで人工林率 25.5%は県平均よりも低い。樹種別に見るとヒノキが62%と高く古くからヒノキの植栽が盛んな地域でもある。また、県民の森林に対する期待は、北部地域は林業生産地として、南部地域は災害防止や二酸化炭素吸収、保健文化等の機能への期待が高い。</p> <p>しかし、林業採算性の悪化などにより間伐等の森林整備が適切に実施されていない森林が一部に見られるなど、多面的機能の低下が危惧されている。</p> <p>このため、県が進める流域林業経営モデル団地や低コスト経営団地に積極的に取り組み、面的まとまりのある施業実施による施業集約化・低コスト化を図る。また、適正な維持管理がなされていない森林について、間伐等の施業の重点化を行い手遅れ林分の解消により、森林の持つ公益的機能を高度に発揮させる。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：7,621ha 人工造林、下刈り、枝打ち、除伐、間伐、森林作業道等</p> <p>総事業費：3,160,980千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 4.44 (総便益(B) = 20,321,730千円、総費用(C) = 4,575,787千円)</p>
評価結果	<p>必要性：森林整備が必要な森林が多く存在することから、森林の公益的機能を高めるためにも事業実施は必要である。</p> <p>効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：資源として本格的に利用可能な段階を迎えている人工林等を適正に整備することにより、公益的機能の発揮と県産材の安定供給が図られ有効である。</p> <p>森林は多面的な機能を有しているが、これらの機能を一度失うとその回復には長期間を要することから、生育段階や立地条件に応じた適時・適切な森林整備が不可欠である。 本計画では、森林の公益的機能の発揮に配慮した計画としているほか、効率性や有効性が認められることから、本計画を実施することは適当である。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業
 地域名: 加古川

兵庫県
 (単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	5,344,365	
	流域貯水便益	1,425,848	
	水質浄化便益	2,434,210	
山地保全便益	土砂流出防止便益	5,806,203	
	土砂崩壊防止便益	18,800	
環境保全便益	炭素固定便益	3,021,152	
木材生産便益	木材生産確保・増進便益	2,271,152	
総 便 益 (B)		20,321,730	
総 費 用 (C)		4,575,787	
費用便益比	$B \div C = \frac{20,321,730}{4,575,787} = 4.44$		

森林環境保全整備事業 加古川流域地区 (兵庫県概要図)

